

これは最初の恋。
そして、最後の恋。

〔劇場版〕

はいから

Haikara-san ga Toru
the movie

さんが

通る

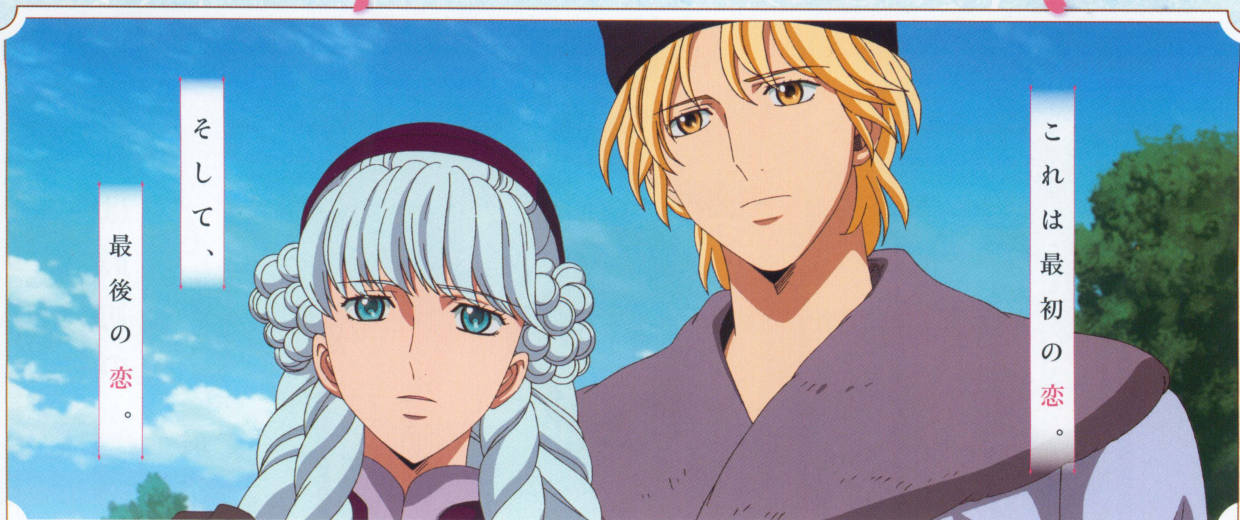
後編

花の東京大ロマン

2018年10月19日〔金〕ROADSHOW

原作・大和和紀「はいからさんが通る」 講談社KCDXデザート 監督・城所聖明 脚本・古橋一清 キャラクターデザイン・西位御実 総作画監督・伊藤秀樹 大竹紀子 中村深雪
作画監督・渡邊真由美 鷺田敏弥 大西陽一 川孝久 飯田清貴 吉岡彩乃 演出・野田泰宏 榎本守 高林久弥 城所聖明 美術デザイン・加藤靖忠 美術監督・小幡和寛 色彩設計・辻田邦夫 撮影・秋山源路
音響監督・若林和弘 音楽・大島ミチル 主題歌・「新しい朝」早見沙織 作詞・作曲 竹内まりや 編曲 前口沙
アニメーション制作・日本アニメーション 製作・劇場版「はいからさんが通る」製作委員会 配給・ワーナー・ブラザーズ映画

©大和和紀・講談社 / 劇場版「はいからさんが通る」製作委員会 WARNER BROS. PICTURES



最後の恋。

そして、

これは最初の恋。

大和和紀が生んだ「はいからさんが通る」が、新たなスタッフ・キャスト陣によって劇場版アニメーション二部作として復活。2017年11月に『前編～紅緒、花の17歳～』が公開され、幅広い世代の観客が続きを待ち侘びる中、いよいよ『後編～花の東京大ロマン～』が幕を開ける。

『後編』では、『打ち上げ花火、下から見るか横から見るか』(17)で助監督を務めた、気鋭のアニメ演出家・城所聖明を監督に起用。ヒロイン紅緒役の早見沙織をはじめ少尉役の宮野真守や青江冬星役の櫻井孝宏など今作も実力派役者たちが作品に色を添える。

さらに主演の早見沙織が歌う主題歌も、『前編』に続いて竹内まりやが作詞・作曲を手掛けることが決定した。

- ◆ TVアニメシリーズでは描かれていない、怒涛の展開をみせる原作のラストパートがついに初めてアニメーションとなって、現代に花ひらく。愛する少尉との別れを経て、自立した女性へ成長した紅緒を待ち受ける運命とは!?
- ◆ 少女漫画史に残るラブコメの傑作がついに完結。

story

まだ女性が恋も仕事も自由に選べなかった時代。女学校に通っていた花村紅緒は、祖母の時代から決められていた許婚、伊集院忍少尉と出会う。紅緒は、当初少尉に反発していたが、やがて2人は許婚という関係を超え、心の底から惹かれあっていく。しかし、少尉が戦地で消息不明に……。どこかで少尉が生きているのではと諦め切れないそんな彼女の目の前に、少尉と瓜二つの人物が現れる。ロシアからの亡命貴族、サーシャ・ミハイロフだ。ところが、少尉そっくりなサーシャは紅緒のことをまったく知らない様子。シヨックを受けた紅緒を励まし、支え続けたのは、彼女が働く出版社の編集長、青江冬星だった。

愛する人と同じ姿でありながら自分のことを知らない、サーシャ。一方、過去は忘れて新しい道を共に歩んでいこうと語る冬星。2人の間で紅緒の心は激しく揺れ動く。

そんな中次々と衝撃的な事実が明らかとなり、ついには歴史的な事件に巻き込まれることも……。短くも激動の大正時代。その真つ只中を時には笑い、時には涙し、ひたむきにまっすぐ駆け抜ける「はいからさん」。

彼女は、最後に何を選び、誰と結ばれるのか――。

character



青江冬星

CV: 櫻井孝宏

紅緒が入社した出版社「冗談社」の社長であり、『冗談倶楽部』の編集長。女性が苦手で触れられるとじんま疹が出てしまうが、なぜか紅緒だけは平気。仕事にも自分の生き方にも真っ直ぐな紅緒を支えるうち、彼女に心惹かれていく。



花村紅緒

CV: 早見沙織

お転婆なじゃじゃ馬娘。当初は許婚の少尉に反発していたが、花嫁修行のため伊集院家に招かれ、次第に少尉と惹かれあうようになった。シベリアで消息を絶った少尉に代わり伊集院家を守っていくと決意。出版社で働き始める。



伊集院忍

CV: 宮野真守

紅緒の許婚である陸軍少尉。祖母の悲願を叶える為に、彼女との結婚を受け入れていたが、紅緒の思いやりと前向きな行動力にふれ、心から愛しく思うようになった。しかし、シベリア出征中に敵の襲撃に遭遇し、消息不明となった。



ラリサ CV: 坂本真綾

サーシャ・ミハイロフ侯爵の夫人。ロシア革命を逃れて日本に亡命してきた貴族。病魔に冒されており、常にサーシャに寄り添う。何かを隠しているのか、紅緒がサーシャに近づくことを警戒する。



サーシャ

少尉とそっくりな外見を持つ侯爵。ラリサと共に日本に亡命してきた。